

嘉穂中 学校通信



【心を耕し、心身を鍛え、夢の実現に向け

令和7年1月8日発行

たくましく挑戦し続ける生徒の育成】

3学期もどうぞよろしくお願いたします

本日より令和6年度の3学期がはじまりました。

改めて3学期もどうぞよろしくお願いたします。

皆さんもご存じの通り今年の干支は、乙巳（きのとみ）です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。

皆さんは、どんな努力を重ねていきたいですか。

さて3年生は、自分の第一希望進路実現のために最後の「努力」を積み重ねる時期に入ってきました。しっかり最後まで前を見て、自己の第一希望進路実現に向けてラストスパートを頑張してほしいと思います。

また2年生は、3年生になるための大事な学期、いよいよ自分の志望校を決めていく、「努力」を積み重ねゴールを決めていく時期になります。1年生は、2年生になるために1年生の学習内容をしっかり確認する大切な学期です。

どの学年もしなければならないことをしっかり行い、新たなるステージに向かってほしいと思います。



保護者連絡ツール「tetoru（テトル）」の登録を

先日の「学校通信」でお知らせをしましたように、3月をもってこれまで活用していた「すぐメール」のサービスが終了します。そこで、「すぐメール」に代わる保護者への連絡ツールとして「tetoru（テトル）」の運用が令和7年4月から始まります。「tetoru（テトル）」の機能として、これまでの「すぐメール」同様のメール機能や欠席連絡の機能などが利用できます。その準備といたしまして「tetoru（テトル）」の登録が必要になります。

12月31日（火）までに登録をお願いしていたところですが、まだ登録ができていないご家庭があります。

つきましては、「tetoru（テトル）登録用紙」を再度発行いたしますので、必ず1月31日までに登録をお願いします。

「tetoru（テトル）」での試験運用につきましては、保護者の登録が確認できた上で行います。重ねて登録を上記期日までにお願いします。

嘉穂中学校 校章の由来

今から約50年前の昭和47年。旧嘉穂町の大隈・宮野・千手にあった中学校が統合され、嘉穂中学校としてスタートしました。校舎が完成するまでの間、旧嘉穂町の大隈・宮野・千手にあったそれぞれの中学校が分教場として存在しました。その後、校舎が完成し、現在、私たちが学んでいる嘉穂中学校として新しい学校がスタートしました。嘉穂中学校発足にあたり、校章図案を当時の在校生全員を対象に一般募集したところ、大隈分教場の当時3年生だった生徒の図案が採用され、現在私たちの校章として使用されています。全校の皆さん、この思いを素晴らしい伝統として継承し、この校章に込められた思いを大切にしていきたいと思います。



<本校の校章をデザインした方の思い>

デザインのモチーフは、「当時の嘉穂町のマーク」と「平和の象徴であるオリーブ」をあしらったそうです。今の嘉穂中生に望むことは、自分が込めた思いのよう「いつまでも平和を願う人たちであって欲しい」と述べられています。

<校章のデザインのいわれを伝えに来て下さったお友達の思い>

「当時、美術科の教員として教鞭をとっておられた先生が、校章の成り立ちや意味を、今回このような形できちんと伝えられるようになったことがとてもうれしい。」と話してくれました。

1月の主な行事予定

- 9日(木) 給食開始
- 10日(金) 3年実力テスト 1・2年課題テスト
- 24日(金) 私立推薦・専願入試
新入生入学説明会(保護者)
- 30日(木)・31日(金)
推薦入学及び特色化選抜学力検査日

2月の 主な 行事予定

- 5日(水)～7日(金)
2年生修学旅行
(関西方面)